

# 令和4年度ネットリサーチ「森林湖沼環境税」に関する調査結果報告書

## ■結果のポイント

- 森林湖沼環境税の認知状況については、「森林湖沼環境税という名称」、「納税額」、「税を活用した取組」のいずれかを知っていると回答した【認知度】は、16.0%となっている。
- 森林湖沼環境税を活用した事業で、「森林の保全・整備」に関して優先すべき取組については、「地球温暖化や災害の防止、水源の保全のための森林整備（植林や間伐など）」が85.1%で最も高く、「海岸防災林を保全するための植栽や松くい虫被害対策」が38.2%と続く。
- 森林湖沼環境税を活用した事業で、「湖沼・河川の水質保全」に関して優先すべき取組については、「浄化槽や下水道・農業集落排水施設による生活排水の適正な処理」が77.2%で最も高く、「工場・事業場からの排水の適正な処理」が68.5%と続く。

## ■調査結果の概要

### 1 森林湖沼環境税の認知状況

- 「『森林湖沼環境税』という名称」、「納税額」、「税を活用した取組」のいずれかを知っていると回答した【認知度】は、16.0%となっている。
- 一方で「知らなかった」と回答した方は、は84.0%となっている。

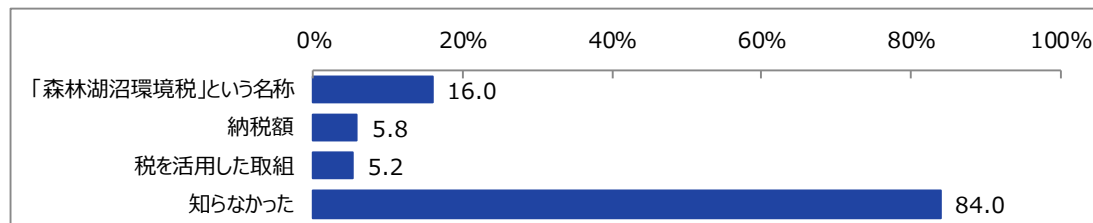
茨城県では、森林の保全・整備や湖沼・河川の水質保全を進めるため、平成20年4月から「森林湖沼環境税」を導入しました。「森林湖沼環境税」は、県民税均等割に、個人は年額1,000円、法人は年額10%（資本金に応じ2,000円から80,000円）を加算しているものであり、森林の保全・整備や湖沼・河川の水質保全を進めるための事業に活用しています。

詳しくは、茨城県森林湖沼環境税ホームページをご覧ください。 HP：<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/rinsei/shinkozei/tax/index.html>

Q1.あなたは、「森林湖沼環境税」について、どの程度知っていましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
「森林湖沼環境税」という名称	16.0	160
納税額	5.8	58
税を活用した取組	5.2	52
名称、納税額、取組のいずれかを知っている	16.0	160
知らなかった	84.0	840

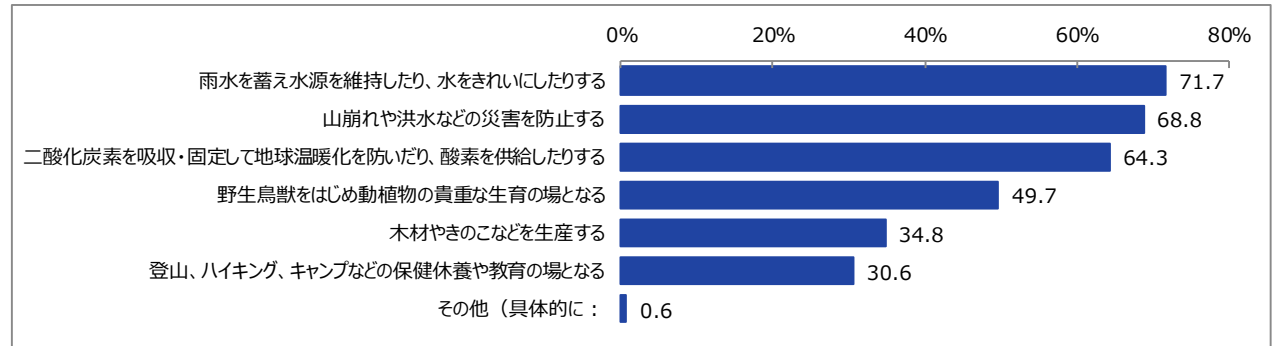


## 2 「森林」の役割で重要だと考えること・期待すること

◇ 「雨水を蓄え水源を維持したり、水をきれいにしたりする」が71.7%で最も高く、「山崩れや洪水などの災害を防止する」が68.8%と続く。

Q2.「森林」は様々な役割を有し、私たちの生活を支えています。あなたはどのような役割が特に重要だと考えますか。あるいは、どのような役割を期待しますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。  
MA

	%	n
全体	100.0	1000
雨水を蓄え水源を維持したり、水をきれいにしたりする	71.7	717
山崩れや洪水などの災害を防止する	68.8	688
二酸化炭素を吸収・固定して地球温暖化を防いだり、酸素を供給したりする	64.3	643
野生鳥獣をはじめ動植物の貴重な生育の場となる	49.7	497
木材やきのこなどを生産する	34.8	348
登山、ハイキング、キャンプなどの保健休養や教育の場となる	30.6	306
その他（具体的に）	0.6	6

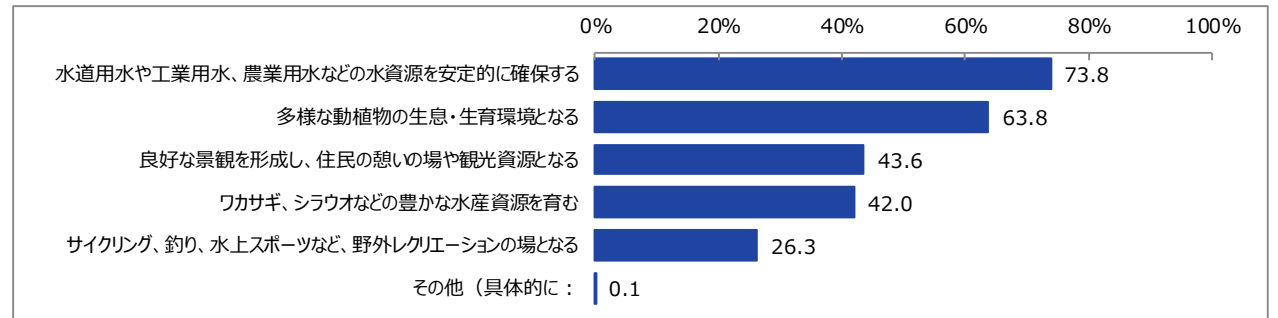


## 3 「湖沼・河川」の役割で重要だと考えること・期待すること

◇ 「水道用水や工業用水、農業用水などの水資源を安定的に確保する」が73.8%で最も高く、「多様な動植物の生息・生育環境となる」が63.8%と続く。

Q3.「湖沼・河川」は様々な役割を有し、私たちの生活を支えています。あなたはどのような役割が特に重要だと考えますか。あるいは、どのような役割を期待しますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。  
MA

	%	n
全体	100.0	1000
水道用水や工業用水、農業用水などの水資源を安定的に確保する	73.8	738
多様な動植物の生息・生育環境となる	63.8	638
良好な景観を形成し、住民の憩いの場や観光資源となる	43.6	436
ワカサギ、シラウオなどの豊かな水産資源を育む	42.0	420
サイクリング、釣り、水上スポーツなど、野外レクリエーションの場となる	26.3	263
その他（具体的に）	0.1	1

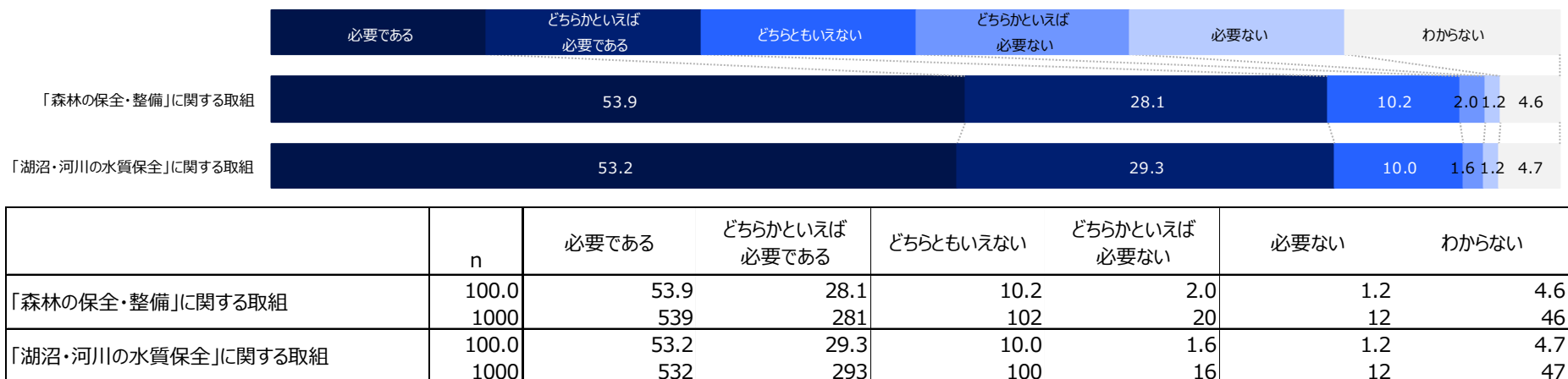


#### 4 茨城県の自然環境を守るための取組の必要性

- ◇ 「森林の保全・整備」に関する取組について、「必要である」(53.9%)、「どちらかといえば必要である」(28.1%)を合わせた【必要】が82.0%となっている。
- ◇ 「湖沼・河川の水質保全」に関する取組について、「必要である」(53.2%)、「どちらかといえば必要である」(29.3%)を合わせた【必要】が82.5%となっている。

Q4.あなたは、森林の保全・整備や、湖沼・河川の水質保全など、茨城県の豊かな自然環境を守るための取組について必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

SA



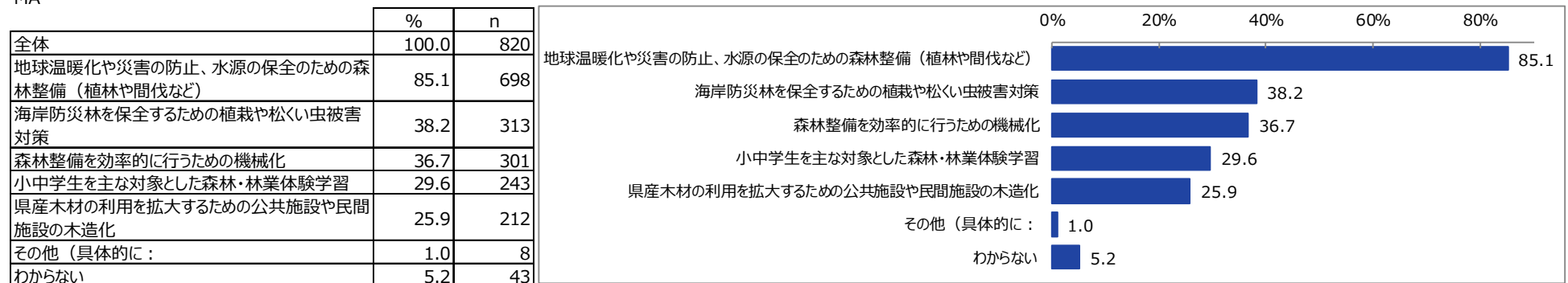
#### 5 森林湖沼環境税を活用した事業で優先すべき取組（森林の保全・整備）

- ◇ 「地球温暖化や災害の防止、水源の保全のための森林整備（植林や間伐など）」が85.1%で最も高く、「海岸防災林を保全するための植栽や松くい虫被害対策」が38.2%と続く。

(Q4「森林の保全・整備」に関する取組で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答された方へ)

Q5.「森林湖沼環境税」を活用した事業について、今後優先すべき「森林の保全・整備」に関する取組はどのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

MA



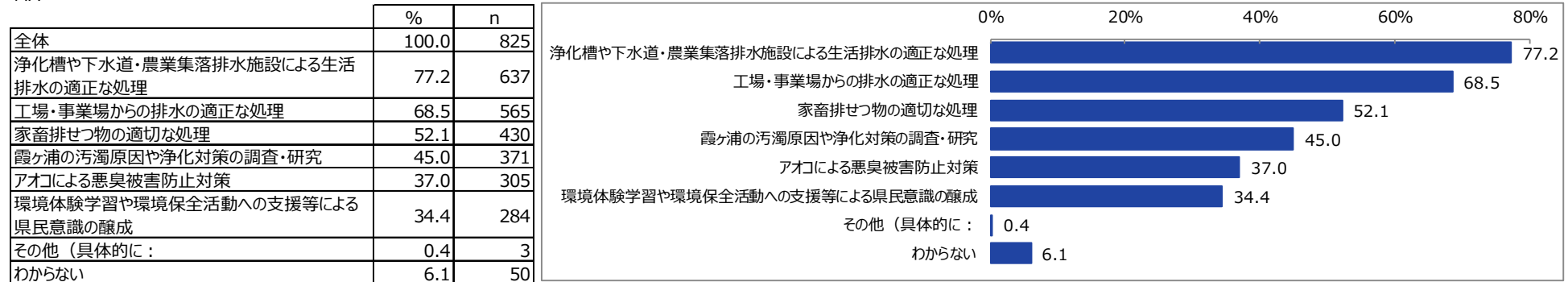
## 6 森林湖沼環境税を活用した事業で優先すべき取組（湖沼・河川の水質保全）

◇ 「浄化槽や下水道・農業集落排水施設による生活排水の適正な処理」が77.2%で最も高く、「工場・事業場からの排水の適正な処理」が68.5%と続く。

（Q4「湖沼・河川の水質保全」に関する取組で「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答された方へ）

Q6.「森林湖沼環境税」を活用した事業について、今後優先すべき「湖沼・河川の水質保全」に関する取組はどのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

MA

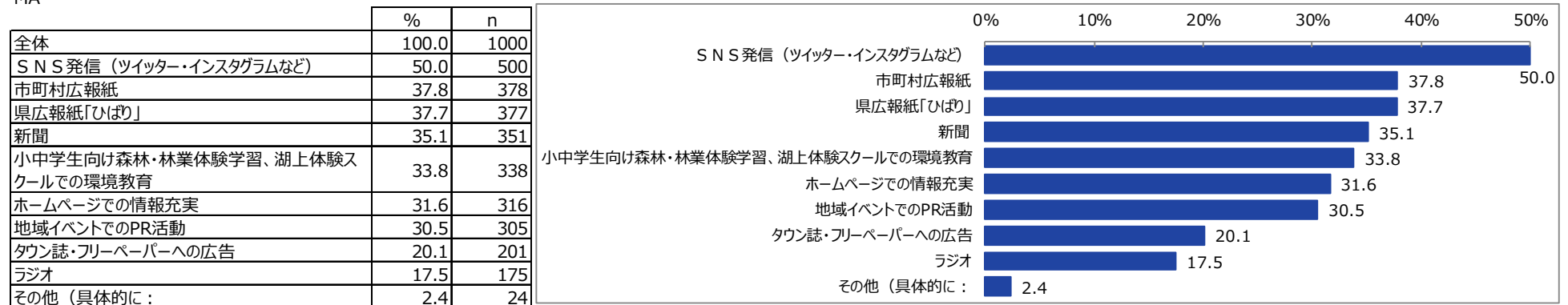


## 7 「森林湖沼環境税」の効果的な広報手段

◇ 「SNS発信（ツイッター・インスタグラムなど）」が50.0%で最も高く、「市町村広報紙」が37.8%と続く。

Q7.「森林湖沼環境税」の税制や税を活用した取組を更に知ってもらうためには、どのような手段が効果的だと思いますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

MA



## ■調査の目的

本県では、平成20年度から茨城県森林湖沼環境税を導入し、税を活用して、森林の保全・整備や霞ヶ浦をはじめとする湖沼・河川の水質保全に取り組んでいる。

税制や税を活用した取組への理解促進・認知度向上のため、取組への認識や効果的な広報手段等について調査することにより、今後の事業の進め方に活用する。

## ■実施概要

・実施期間：令和4年12月16日～12月23日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和4年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		115	247	95	352	191	1,000
性別	男性	60	126	50	180	99	515
	女性	55	121	45	172	92	485
年代別	18～29歳	18	41	16	66	32	173
	30歳代	17	44	17	62	32	172
	40歳代	23	57	21	81	43	225
	50歳代	27	55	20	75	41	218
	60歳代	30	50	21	68	43	212

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。